



社会福祉協議会便り

編集・発行 塩冶地区社会福祉協議会 事務所 塩冶コミュニティセンター内 TEL 21-0248
 塩冶社協ホームページ <http://enyashakyo.skr.jp/>

～ぬくもりのある手づくりの福祉のまちづくり～

塩冶地区社会福祉協議会は評議員会により、前年度の事業内容や決算書、新年度の事業計画や予算書が審議され、承認を受けて事業を行っていますが、本年も新型コロナウイルスの感染状況により、昨年と同様に書面表決により事業が承認されました。ですが、今後の感染状況によっては事業の延期や中止する場合がありますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。(事業内容は次頁を参照)

塩冶地区の人口は近年大きく伸び、本年1月末現在での人口は15,756人、世帯数は7,253となり、一地区の人口規模では県内でもトップクラスとなっています。その要因は住宅需要による定住人口の増とブラジル人をはじめとする外国人の増加です。多文化共生と外国人の定住を目指す出雲市の外国人政策のモデル地区ともいえます。

一方で高齢化が進み、高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯の増加は老老介護や認知症対応など、様々な問題があります。また少子化や町内会加入率の低下はコミュニティ機能に少なからず影響を与えており、活力ある地域づくりのためには、乗り越えていかなければならない課題のひとつです。

このような状況を踏まえ、塩冶社協は「ぬくもりのある手づくりの福祉のまちづくり」を基本目標に掲げ、引き続き、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉及び子育て・青少年育成の活動を可能なものから進めてまいります。塩冶社協の事業財源は香典返しなどの寄附金や参加者の負担金、出雲市・市社協の補助金、塩冶自治協会や塩冶クラブからの交付金等です。限られた貴重な財源を有効に活用するよう、地区諸団体とも協働し、地域福祉の増進に努めてまいります。



《昨年度の活動状況》



〈令和4年度 塩冶地区社会福祉協議会役員名簿〉

会 長	中尾 一彦	副会長	花田 敦子、周藤 祥三、吾郷 勲
理事・幹事	佐藤 真澄 (揚東) 錦織二三枝 (北天神) 古川 宏幸		
理 事	(揚東・福祉座) 深田 悦子 (菅沢) 古瀬 勝彦、永瀬 弘之 (半分) 石原 幸子、清家 好子 (築山) 吾郷 滋、山根 賢二 (宮松) 沖田 修治 (下沢) 土屋 淳、安田 和美 (弓原) 星野 民子、成相 幸子 (揚西) 矢田 邦雄、矢田 裕子 (高西北) 高塚 勝昭 (高西南) 布野 達也、大賀 幸恵 (高西南・福祉座) 野津 雅子 (南天神) 谷戸 奈緒子、公田 郁夫 (北天神) 石原 健二、満行 弘一、並河 裕子 (中天神) 坂本 正人 (天神団地) 川上 修二、水上 誠 (福祉座) 加藤 幸子、吾郷佐智子、杉原 弘江、平尾 庸子、藤原登美恵 ※下線は新任理事		
監 事	桑原 弘実、大塚 昌雄		

■ 令和4年度の事業

1 企画部

- ・関係団体等との連携、地域活動助成事業
- ・あげそげ塩冶福祉座のパワーアップ
- ・子ども食堂（子ども等の居場所づくり）の検討

2 総務部

- ・戦没者追悼・戦争犠牲者追悼・平和祈念式（中止）
- ・認知症研修会、理事研修会の開催

3 広報広聴部

- ・機関紙「社会福祉協議会便り」の発行
- ・福祉座談会、地域環境美化活動
- ・ホームページの更新・管理

4 高齢者福祉部

- ・高齢者福祉大会（中止：下段のお知らせをご覧ください）
- ・一人暮らし高齢者交流事業の推進

5 障がい者福祉部

- ・塩冶愛友会や地域団体と連携した交流会等の実施

6 青少年育成部

- ・児童綱引き大会、日本文化体験の集い
- ・子ども会の育成支援

7 ふれあいサロン事業

サロン会を集会所等で行っていますが、参加者が近郊へ遠足を実施する場合、各サロン会に助成（1回限り）しています。

■ 令和4年度の予算

※今年度予算の概要は以下のとおりです。

収 入		
款	項 目	予算額
負担金	サロン事業、料理教室等の参加者負担金	365,700
市社協支出金	市社協ふれあいサロン会事業補助金	639,720
	市社協総合支援事業補助金	437,000
	塩冶自治協会交付金	604,000
繰入金	福祉基金からの繰入金	70,000
繰越金	前年度からの繰越金	1,918,416
諸収入	利息、諸収入等	65,164
合 計		4,100,000

支 出		
款	項 目	予算額
総務費	・評議員会、理事会、研修費等	155,200
	・更生保護女性会助成金	20,000
	・戦没者・戦争犠牲者追悼平和祈念式	70,600
	・あげそげ塩冶福祉座活動	50,000
	・保険、通信費、その他	108,000
広報広聴費	・地区社協便り発行	398,000
	・地域環境美化看板の点検補修	30,000
	・福祉座談会	34,000
	・ホームページ管理	10,000
高齢者費	・百寿会・サロン研修費助成金	575,000
	・高齢者福祉大会	355,000
	・ひとり暮らし高齢者懇談会	210,000
	・高齢者料理教室（話食交流会）	59,000
	・ふれあいサロン事業	995,804
	・認知症研修会	61,000
障がい者費	・愛友会助成金	20,000
	・障がい者交流・支援事業	110,000
青少年費	・子ども会活動等への助成金ほか	362,000
	・日本文化体験の集い	60,000
	・児童綱引き大会、研修会	330,000
予備費		86,396
合 計		4,100,000

■ 塩冶社協便り 100号突破記念アーカイブ

社協便りが100号を超えたことを記念し、「塩冶社協便りアーカイブ記録集(DVD)」を作成いたしました。DVDには創刊号から現在までの社協便りをPDFファイルとして納め、発行経緯や記事見出し一覧を添付しています。

塩冶地区の皆さままでご希望の方があれば、このDVDを下記にて配布（無料）いたします。

※配布場所

塩冶コミュニティセンター

☎ 0853-21-0248

受付で以下をお伝えください。

- ①社協だよりのDVDを希望
- ②住所、氏名、電話番号



高齢者福祉大会 中止のお知らせ

全国的に新型コロナウイルス感染症の発生が未だ落ち着かない状況であり、県内においても感染の終息はまだ先のようです。

9月の敬老の日に、恒例の「高齢者福祉大会」を予定していましたが、室内に多数の人たちが集まることや事前の準備が多岐にわたることから、感染防止のために、中止することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

塩冶地区社会福祉協議会
会長 中尾 一彦

日本文化体験の集い

大きなたまねぎとじゃがいもがどっさり！
子どもたちと収穫イベントを開催



塩冶社協の青少年育成部ではコロナ禍にあっても子どもたちが安心して取り組める活動として、昨年より野菜づくりを通した食育イベントを行っています。

6月4日(土)、昨年秋に植え付けた玉ねぎを収穫しました。参加したのは外国籍の子どもらが通う3つの児童クラブ、わくわくこどもクラブ(代表 堀西雅亮さん)、わくわく児童クラブ(施設長 高畑慶治さん)、塩冶地区放課後子ども教室(代表 奈良井文子さん)の子どもたち24人、保護者の方やスタッフを加えると46人の参加でした。



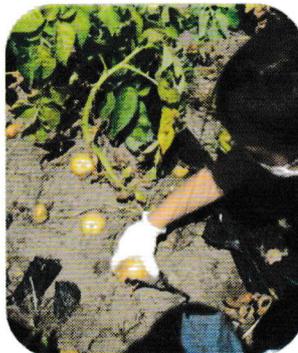
畑で育つ玉ねぎを初めて見た子どもたち…。去年植えた時は鉛筆より細い苗だったのが、今は大人の手のひらくらい、Lサイズの玉ねぎがどっさり、子どもたちからはウーッと歓声が上がりました。



保護者やスタッフからも歓声が上がりますが、ちょっとニュアンスが違うような…。なぜなら今年は玉ねぎが超不作で、お店の値段がいつもの何倍もするのですから！

子どもたちはどんどん玉ねぎを抜いていきます。スタッフが数えてみると300個以上の玉ねぎが収穫できました。

次にじゃがいもを掘ります。子どもたちが茎を引っ張ると土の中からいもがごろごろ出てきます。「土の深いところにもじゃがいもが埋まっているぞ」スコップを持ったスタッフも大忙しです。



最後に収穫が終わった畑には、秋の収穫に向けてさつまいもを植えました。



また中南米や東南アジアでよく食べられているキャッサバいもも何株か植え付けました。どんなおいもになるのか、秋が楽しみです。

玉ねぎとじゃがいもでいっぱい袋を下げて、子どもたちが帰っていきます。きっと今夜の食卓は子どもたちが話題の中心でしょう。

玉ねぎを引っ張ってもなかなか抜けなかったこと、棒で穴を開けてからさつまいもの苗を植えたこと、採れたてのじゃがいもがとても美味しいこと…。そんな楽しい食卓であれば私たちは願います。

今回のイベントにはたくさんの皆さんの協力をいただきました。とくに出雲二中の生徒さんが畑の管理作業に頑張ってくれました。ミニ耕うん機で畑を耕したり、玉ねぎの薬かけやじゃがいもの植え付けをしたりと、今回のイベントの成功も生徒たちの活躍があってこそ。大感謝です。

さらに、子どもたちの引率や見守りをしていただいたボランティアの皆さん、遠く松江から駆けつけてくれた島根大学教育学部の皆さん、畑をお借りした田中英潤住職(日蓮本宗妙伝寺)には改めて感謝いたします。

(青少年育成部 布野達也)



ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。

今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。
(3月1日から6月30日まで) 敬称略

香典返し

寄附者名	故人名	区域名	寄附金額
------	-----	-----	------

※ 掲載欄の — は、掲載を希望されない方

***** 編集後記 *****

あっという間に雨の降らない短い梅雨があけたようです。近年、異常気象と言われていますが、本当に日本も亜熱帯どころか熱帯の気候に近づいているようで、新型コロナだけではなく、熱帯由来のデング熱などの感染症も心配されるところです。それに加えて、ロシアのウクライナ侵攻により世界は不穏な状況となっています。

このような中で、身近な地域におけるつながりが、少しでも心の安らぎとなればいいと思います。災害時のもとより、日頃から、町内会に入っているいないに関わらず、近隣に住む人達を気にかける社会であってほしいと思います。

今の子どもたちが大きくなった頃の社会が、希望に満ちた社会になるよう、心がけて行動したいものです。

(理事 並河裕子)

この地区社協便りには、「出雲市社会福祉協議会の会費、寄付金、共同募金を財源とした助成金」を財源の一部としています。

お知らせ “塩冶ぼよぼよクラブ”

塩冶ぼよぼよクラブはお陰様で4月、5月と盛況に終わることができました。4月は23組、5月は21組と予想以上に沢山の方々が参加していただき、本当に嬉しく思いました。第1回はおしゃべり会でグループごとに自己紹介をしたり、聞いてみたいことなどを話しあったりしてもらいました。



すぐ近くに住んでいながら知らなかった方々が知り合いになったり、先輩ママさんに子育ての知恵を教わったり、とても和やかな雰囲気の中、笑い声があちこちから聞こえて来ました。



第2回は手作り玩具作りでした。ペットボトルのガラガラ(中にお米、マカロニを入れて)は小さめの握りやすいものを作り喜ばれました。それから少し大きめのペットボトルに洗濯のりと水を(1:2)入れ、カラフルなスパンコールやビーズを混ぜるとトロ〜とかわいいキラキラボトルの出来上がり。



手作り玩具の“ガラガラ”。

「わあ、きれい!」「まあ、かわいい!」と歓声が上がっていました。お父さんも2組参加され、楽しんで積極的に作っておられました。

1時間半ほどの時間ですが、スタッフの知り合いや民生委員の方にお手伝い(赤ちゃんの見守り、一緒に遊んだり等)をしていただき、お母さんたちは安心して玩具作りやおしゃべりをする事ができ、とても喜んでおられました。これからも地域の方々の声を聴きながら一緒に楽しい時間を過ごして行きたいと思っております。

どうぞ皆さん、気軽に参加してくださいね!

(クラブ担当: 吾郷宰子、谷戸奈緒子)

お問い合わせ先は
市役所健康増進課 塩冶地区担当保健師
TEL (0853) 21-6981

